

プログラム名(テーマ) 赤城自然体験ツアー

目指す児童・生徒像 様々な体験活動を通し仲間との人間関係の構築と、視野を広げ生活力の向上を目指す生徒

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目					13:30入所～オリエンテーション 14:30～【総合的な学習】 ○森林の観察をしよう グリーンアドベンチャー 17:00～夕べのつどい 野外炊飯 ○カレーを作ろう		16:30～ ○野外炊飯、食事、後片付け 19:00～ ○キャンプファイヤー 20:30～ふりかえり、入浴 16:30～	
					・全体での説明を聞いた後、各クラス6名ずつの5班に分け、協力し合って活動を行う。		・学年全体でグループを作り、野外炊飯をすることで親睦を深める。	
2 日 目	7:10～朝のつどい	7:30～	8:30～赤城登山 ○地藏岳:青少年交流の家→団体利用の貸し切りバス→新坂平～地藏岳山頂～赤城大洞→貸し切りバス→青少年交流の家	昼食はお弁当	14:00～ ○あかぎ野鳥観察 16:00～ ○クッブ	17:30～	18:30～ ○星空観察 20:30～ふりかえり、入浴	
			・リュック、野外活動に適した服装、救急薬品、緊急連絡票、その他必要とされるものの準備。		・双眼鏡、野鳥図鑑、講師指導(6,000円) ・クッブセット、(レクチャー)		・懐中電灯、星座早見板、講師指導(6,000円)	
3 日 目	7:10～朝のつどい	7:30～	9:00～ ○AAP(あかぎアドベンチャープログラム)		13:00～ ○ふりかえり 14:00～ ○退所			
			・活動を通して、仲間とのコミュニケーション力を高め協調性を学び、自己概念を向上させる。 プログラムに必要な用品類等、講師指導(8,000円)					

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 絆を深める2泊3日

目指す児童・生徒像 自他を思いやり明るくたくましく生きる生徒

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1日目		各家	【特別活動】学校行事 7：00～ 出発式（学年集会） 生徒司会進行による林間学校出発式 【総合的な学習の時間】9：00～ 鍋割山登山（小雨決行：荒天時はサンデン赤城工場見学）	山頂 弁当	【特別活動】13：00～ 入所式（学年集会） 生徒司会進行による入所式 校歌斉唱 誓いの言葉等。お世話になるスタッフの方々へあいさつ。 【理科・社会】14：30～ グリーンアドベンチャー	食堂	【特別活動・体育】19：00～20：30 キャンプファイヤー（学年集会・学級活動） （雨天：体育館にて室内オリンピック） ○点火の儀式（旧来の陋習にとられない生徒主体の楽しいもの） ○歌やフォークダンスで盛り上げる。 ○各クラスの出し物 ○8人グループで手花火 ○終わりの儀式 「キャンプありがとう」 【入浴・振り返り】	
			林間の導入赤城山にはいろいろな山があり自然豊かな場所であることを知る。		男女混合6人1チームでおこなう。樹木の名前を覚えたり、協力して次のポイントをさがしたりする。		活動を通して自他の尊重クラスや学年の和の気持ちを育てる。	
2日目	朝の集い	食堂	【特別活動・体育・総合的な学習の時間・道徳】 選択ハイク グループ1：黒檜山 グループ2：地藏岳登山 グループ3：覚満淵及び大沼一周ハイク	弁当	→ 各グループは終了後赤城神社へ集合		【体育】19：00～20：30 室内オリンピック（体育館） 【入浴・振り返り】	
			○個人の体力や目標に応じて3つのコースから選ばせて赤城の自然に触れさせると同時に、登山の苦しさや達成感を体験させる。 ○G3は自然観察的要素を多く入れ時間をかけて歩かせる。		※バスの確保 ※自然観察や登山リーダーは必要に応じて関係機関に依頼する。		生徒たちにあらかじめ考えさせた体育的レクリエーションをクラス対抗で行わせる。	
3日目	朝の集い	食堂	【特別活動・体育】9：00 A A P		【家庭科】 野外炊飯（カレーライス） 【特別活動】14：00～ 退所式（学年集会） 生徒司会進行による退所式 校歌斉唱 お礼の言葉等。お世話になったスタッフの方々へあいさつ。 →帰校・解散			
			○お互いを尊重しあって活動をすることによって仲間意識を高める。					

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ)

自然の中で友情をはぐくみ、体を鍛える

目指す児童・生徒像

体力と思いやりを持つ心身ともにたくましい生徒

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1日目		各自	学校集合 出発式 登山開始（赤城登山 A） 山頂で記念撮影	弁当	入校式 オリエンテーション オリエンテーリング 掃除、夕食準備 夕食	食堂	体育館 室内運動会 クラス対抗戦 入浴 班別会議 就寝	
			○めあて 体を鍛える。困難に立ち向かう気持ちを育てる。 ○準備 事前の下見、教師の配置、緊急時の対応等を確認しておく。		○めあて ・儀礼的行事の振舞い方を養う。 ・友達と協力することの大切さを知る。 ○準備 ・入校式での校歌、あいさつ返事等の指導 ・事前の下見や注意事項の洗い出し、教師の配置等を確認しておく。		○めあて クラスの団結を深める。 ○準備 実行委員の指導、実施するゲームの精選・準備、班分け等	
2日目	6：30起床 7：10朝のつどい	つどいの広場 食堂	朝食 野外炊事（カレーライス作り）	野外炊事場	AAP（あかぎアドベンチャープログラム） 掃除、夕食準備 夕食	食堂	キャンプファイヤー 入浴 班別会議 就寝	
	6：30分までは、布団から出ない。		○めあて 食生活の築きや協力することの大切さを学ぶ。 ○準備 野外炊事時の班編成、安全上の注意事項確認、下準備等		○めあて 仲間とのコミュニケーション力や協調性を高める。 ○準備 事前の下見、当日の教員配置、インストラクターへの依頼、安全上の注意事項、生徒の班編制、実行委員等への指導		○めあて 仲間との交流や交歓を図る。 ○準備 事前の交流の家の方との打ち合わせや各クラスでの出し物の精選や指導。キャンプファイヤー係の指導など。	
3日目	6：30起床 7：10朝のつどい	つどいの広場 食堂	朝食 グリーンアドベンチャー 退校式	施設周辺 体育館	車中昼食（弁当） 学校到着 解散式			
	6：30分までは、布団から出ない。		○めあて ・森林浴をしながら植物を観察し、調べ教え合い、自然に興味を持ち、大事にする気持ちを高める。 ・儀礼的行事の振舞い方を養う。 ○準備 事前の調べ学習、下見、班編制等 退校式での歌、あいさつ返事等の指導	施設周辺	○めあて ・儀礼的行事の振舞い方を養う。 ○準備 ・実行委員等の指導			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 仲間力を育てよう

目指す児童・生徒像 協力・友情・奉仕・規律などの社会的に必要な精神を高め合う生徒

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1日目	【出発式】 学校集合 7：30 出発式 7：45 出 発 8：00		【登山(ウォークラリー)】 ①中学校 ②ベイシア(富士見モール) ③赤城大鳥居 ④ ？ ⑤馬事公苑 ⑥富士見総合グラウンド ⑦赤城青少年交流の家		【入校式】 ・開式のことば ・校歌 ・校長あいさつ ・所長あいさつ ・実行委員長あいさつ ・施設利用の仕方等 【野外炊飯】 ・カレー作り		【選択プログラム】 ○星空観察 ○ナイトウォーク ○むささび見隊	・赤城林間学校のために事前に各クラス男女混合4班の編成を組んでおく。 ・夜の選択プロは講師を依頼する。
	【出発式】 〈めあて〉 3日間の集団行動についての意識を高める。 〈活動形態〉 学年一斉 〈準備〉 ハンドマイク 〈留意点〉 欠席者の確認、朝食は必ず取ってくる。大きな荷物はトラックで運ぶ。 〈費用〉 0円		【登山(ウォークラリー)】 〈目当て〉 中学校からいくつかのチェックポイントを通過しながら互いに協力し合い赤城青少年交流の家までを目指す 〈活動形態〉グループ活動(8～9人(クラス4班)) 〈準備〉 水筒、タオル、帽子、雨具、地図 〈留意点〉 グループでまとまって行動する。ポイント間には、教員が自動車で巡視する。 〈費用〉 0円	食堂 530円	【野外炊飯】 〈めあて〉 カレー作りを通して、協力する大切さやコミュニケーション力の向上を育成する。 〈活動形態〉 グループ活動(生活班) 〈準備〉 水筒、タオル、帽子、軍手 〈留意点〉 ケガややけどに注意する。手洗いをし食中毒に注意する。 〈費用〉 カレーライス8人セット4240円 薪 400円 洗剤・たわし等 500円 (1人あたり約640円)	屋根付き広場	【選択プログラム】 〈めあて〉 事前にグループ選択したプログラムで、夜の赤城の自然(星空)観察を行い、自然に生きる生き物の生態や星座について学ぶ。 〈活動形態〉 グループごとに選択したコース別活動 〈準備〉 懐中電灯、水筒、タオル、雨具 〈留意点〉 蚊などの毒虫に注意する。暗いので足下に注意する。 〈費用〉 ・星空観測(講師代6000円) ・ナイトウォーク(講師代6600円) ・むささび見隊(講師代 0円) (1人あたり約200円)	
2日目	【朝のつどい】 ・交流の家メニュー ・朝のレクリエーション		【赤城アドベンチャープログラム(A P P)】 ・クラスの団結、協力、思いやりなどを高めるため、担任とともに挑戦していく。		【選択プログラム】 ○ネイチャーゲーム ○グリーンアドベンチャー ○赤城野鳥・植物観察 ○ウォークラリー ○ツリーイング ○クップ		【キャンプファイヤー】 ・はじまりの話 ・点火式 ・歌 ・クラス発表(ダンスやスタンツ) ・フォークダンス ・閉会・解散	・午後のプロについては教師が事前に研修を行っておく。
	【朝のつどい】 〈めあて〉 今日1日の確認をする。 〈活動形態〉 学年一斉 〈準備〉 レク 〈留意点〉 健康観察 〈費用〉 0円	食堂 420円	【赤城アドベンチャープログラム(A P P)】 〈めあて〉 A P Pを通して、仲間とのコミュニケーション力を高め、協調性を学び、自己概念を向上する。 〈活動形態〉 1クラスを班を基本に2グループに分け、1グループ17人程度とする。 〈準備〉 水筒、タオル、帽子、雨具 〈留意点〉 ・水分補給をまめに行い熱中症を防ぐ。 ・グループ行動を守る。 ・フルバリューコントラクト、チャレンジバイチョイスを心がける。 〈費用〉 講師1人につき8000円 (14人とする生徒1人あたり 470円)	食堂 530円	【選択プログラム】 〈めあて〉 自然体験を通して、自然に親しみ、自然を理解したり、自然保護への関心を高めたりする。 〈活動形態〉 グループごとに選択したコース別活動 〈準備〉 水筒、タオル、帽子、雨具 〈留意点〉 ゴミをださない。水分補給をまめに行い熱中症を防ぐ。グループ行動を守る。 〈費用〉 ・ネイチャーゲーム(講師代8000円) ・ツリーイング(講師代6600円)	食堂 650円	【キャンプファイヤー】 〈めあて〉 キャンプファイヤーを通して、火をはじめ自然の大切さを実感するとともに、営火を囲みながらゲームやダンス等を通し、仲間との交流、を図りながら、2日間の活動で体験したことやそこから学んだことなどを振り返る。 〈活動形態〉 学年一斉 〈準備〉 ファイヤー作り、点火セット 〈留意点〉 天候に留意する(雨、風) 〈費用〉 薪大 1000円×4＝4000円 トーチ棒セット 1200円(6本) 灯油1ℓ 100円 計5300円(1人あたり22円)	
3日目	【朝のつどい】 ・交流の家メニュー ・朝のレクリエーション 【退校準備】 ・掃除 ・荷物整理と荷物の移動		【オリエンテーリング】 ・事前に下見した危険ではないポイントから活動範囲を指定した上で、グループごとに話し合いながらコースを考え、獲得点数を競う。		【退校式】 ・開式のことば ・校歌 ・校長あいさつ ・所長あいさつ ・お礼のことば			
	【朝のつどい】 〈めあて〉 今日1日の確認をする。 〈活動形態〉 学年一斉 〈準備〉 レク 〈留意点〉 健康観察 〈費用〉 0円	食堂 420円	【オリエンテーリング】 〈めあて〉 オリエンテーリングを通して、仲間とのコミュニケーション力を高めるとともに、協調性や集団規律の大切さを学ぶ。 〈活動形態〉グループ活動(8～9人(クラス4班)) 〈準備〉 水筒、タオル、帽子、雨具、マップ、コンパス、ゼッケン 〈留意点〉 ・入っては行けない場所などのきまりを守る。 ・水分補給をまめに行い熱中症を防ぐ。 ・グループ行動を守る。 〈費用〉 105円(マップ代)	食堂 530円	【退校式】 〈めあて〉 お世話になった施設への感謝の気持ちを表すとともに、3日間を振り返り、自己概念の向上を実感する。 〈活動形態〉 学年一斉 〈準備〉 〈留意点〉 健康観察 〈費用〉 0円		参考 <予算案(1人あたり)> 野外炊飯 640円 食事代(6食分) 3080円 シーツ代 200円 夜の選択プロ 約200円 A P P 約470円 2日目午後の選択プロ 約 50円 キャンプファイヤー 約 22円 オリエンテーリング 105円 帰りのバス代 約1000円 合 計 5570円	<参考>中学生以上 朝食 420円 昼食 530円 夕食 650円 シーツ代 200円

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 仲間と協力し、絆を深めよう！

目指す児童・生徒像 友だちを信頼し、友達と協力・協調できる生徒

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1日目			7:30 学校 発 9:00 赤城青少年交流の家 着 9:30 開校式 10:00 あかぎ登山 (B) 交流の家 出	お弁当	16:00 あかぎ登山 交流の家 着 16:15 登山の振り返り 17:00 タベのつどい(1組の代表)	17:30 ~ 18:15	18:30 入浴(各クラス15分) 20:00 ナイトウォーク 雨天・室内ゲーム 22:00 一日の反省・班長会議・健康観察 22:30 就寝	
			あかぎ登山(B) 10:00～16:00 (6時間) 「班員と協力しあい、達成感を味わう」 交流の家 ～ 鍋割高原 ～ 鍋割り山頂 ～ 鍋割高原 ～ 交流の家 1班8人 計16班編制 持ち物 お弁当・水筒・雨具・汗ふきタオルなど 職員用意 救急セット・トランシーバー		登山の振り返り 16:15～16:45 (30分間) 班ごとに班長を中心として話し合いをする。 登山の仕方(歩く速さや危険な箇所での対処の仕方など)、登山中の態度、班員への気遣い など		入浴 18:30～19:30 (60分間) 各クラス15分間 ナイトウォーク 20:00～22:00 (2時間) 1班8人 計16班 班対抗ゲーム、班員と協力しながらゲームをやりとげる。	
2日目	6:00 起床・洗面 健康観察 7:10 朝のつどい (2組の代表)	7:30 ~ 8:15	9:00 ネイチャーゲーム 1組・2組 (64人) PA(プロジェクトアドベンチャー) 3組・4組 (64人)	12:00 ~ 12:45	13:00 PA(プロジェクトアドベンチャー) 1組・2組 (64人) ネイチャーゲーム 3組・4組 (64人) 17:00 タベのつどい(3組の代表)	17:30 ~ 18:15	18:30 入浴(各クラス15分) 20:00 キャンプファイヤー 雨天・キャンドルファイア 22:00 一日の反省・班長会議・健康観察 22:30 就寝	
			ネイチャーゲーム (3時間) 友だちと協力し合いながら、課題を解いていく体験を通して、自然に親しみ、自然のすばらしさを感じ取る。 1チーム8人、8チーム編成 講師代 8000円		PA (3時間) 友だちとのコミュニケーション力や協調性、また友だちを信頼することを学び、自己を向上させる。 1グループ16人 4グループ編成 講師代 8000円		入浴 18:30～19:30 (60分間) 各クラス15分間 キャンプファイヤー 20:00～21:30 (1時間半) 集団でゲームや出し物を行い、友だちとの交流を図る。 準備 薪、トーチ、新聞紙、マッチ、懐中電灯など。費用5350円	
3日目	6:00 起床・洗面 健康観察 7:10 朝のつどい (4組の代表)	7:30 ~ 8:15	8:15 清掃・荷物整理(荷物の移動) 8:30 オリエンテーリング 10:30 野外炊事	野外炊事	13:00 野外炊飯片付け 14:00 閉校式 14:30 赤城青少年交流の家 発 16:00 学校 着			
			オリエンテーリング 8:30～10:30 (2時間) 1チーム4人、32チーム編成 友だちと協力し合いながら課題を解くことで、協調性を育む。 マップ代 105円×32チーム＝3360円		野外炊飯 10:30～13:30 (3時間) カレーライス ケガなど安全面に気をつけながら、自分の役割を意識し、班員と協力して行う。 1班8人 計16班 準備:薪16束(400×16＝6400円)、鍋32個、ざる16個、ボール16個、包丁16本、台ふき16枚、液体クレンザー等・材料 お米、ジャガイモ、にんじん、タマネギ、お肉、カレー粉 (液体クレンザー、台ふき、洗剤は学校用意)			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

校種

中学校

利用人数

150人

平成23年度教員免許状更新講習

国立赤城青少年交流の家

プログラム名(テーマ)

体感！自然！共同！自分！

目指す児童・生徒像

様々な体験活動を通して、自然に積極的に触れたり、共同して活動することの楽しさを体感できたり、また、自分自身のよさに気づけたりする生徒

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1日目			○7:30 集合 ○7:40 出発式 ○8:00 学校出発 ○9:00～13:00 アクティビティ① 「あかぎ登山」(新坂平～地藏岳～長四郎岳～覚満淵)	弁当	○14:00 開校式 ○15:00～16:30 アクティビティ② ・仲間づくりのワークショップ(アイスブレーキング) ○16:30 部屋、荷物の整理、休憩 ○17:30 夕食	17:30～ 18:00 食堂	○18:30～20:15 アクティビティ③ ・キャンプファイヤー ○20:30 入浴 ○21:30 班長会議 ○22:00 就寝	
	★3日間の活動については、学年、学級等の色々な形になるが、その中の「班」の単位は崩さないようにする。		★赤城山を体感させる。教員配置を工夫し、安全確保に努める。		★宿泊での集団生活の心構えや目的、目当てを持たせる。 ★宿泊での集団生活に対する緊張感や不安を解消できるようにする。		★役割を分担したり、準備してきた出し物を見せ合ったりして、集団での活動に主体的に取り組むことの楽しさや集団のすばらしさを感じさせる。安全確保に努める。 ★健康面の確認をする。 ★キャンプファイヤー:雨天の場合は2日目に実施。	
2日目	○6:00 起床 ○6:15 アクティビティ④ ・青年の家周辺の散策 ○7:10 朝のつどい	7:30～ 8:00 食堂	○8:30～11:30 アクティビティ⑤ ・「AAP」 ・ネイチャーゲーム	12:00～ 12:30 食堂	○13:00～16:00 アクティビティ⑥ ・「AAP」 ・ネイチャーゲーム	17:30～ 18:00 食堂	○18:45～20:15 アクティビティ⑦ ・ムササビ見隊 ・ナイトウォーク ・ナイトネイチャーゲーム ・星空観察 ○20:30 入浴 ○21:30 班長会議 ○22:00 就寝	
	★健康観察をする。 ★朝の赤城山の様子を体感させる ★クラスごとに散策する。		★生徒を2グループに分け、午前・午後交替して実施。 ★仲間とのコミュニケーション力を高め、協調性を学び、自己概念を向上させる。講師に依頼して活動を進めるが、教員が付き添って安全確保に努める。		★生徒を2グループに分け、午前・午後交替して実施。 ★仲間とのコミュニケーション力を高め、協調性を学び、自己概念を向上させる。講師に依頼して活動を進めるが、教員が付き添って安全確保に努める。		★生徒を4グループに分け、並行して実施。 ★通常では味わえない赤城山の夜の自然を体感させる。講師に依頼して活動を進めるが、教員が付き添って安全確保に努める。 ★健康面の確認をする。	
3日目	○6:00 起床 ○6:15 アクティビティ⑧ ・青年の家周辺を散策し、アクティビティ⑨に必要な自然物を収集する。 ○7:10 朝のつどい	7:30～ 8:00 食堂	○8:00～ 清掃・部屋の整理・荷物整理・荷物の移動 ○9:00～10:30 アクティビティ⑨ ・朝の散策で集めたものを利用して、オブジェを作る。 ○11:00～13:30 アクティビティ⑩ ・野外炊事:カレーライスを作る		○14:00 退校式 ○14:45 青少年交流の家出発 ○15:30 帰校式・解散			
	★健康観察をする。 ★朝の赤城山の様子を体感させる。クラスごとに散策する。袋を用意して集めていく。		★全職員で清掃、部屋の整理等の指導に当たる。 ★班で協力して1つの形ある物を完成させることで、コミュニケーション能力、共同の意識を高める。班ごとにオブジェ作りをする。模造紙の半分の大きさの紙に朝の散策で収集してきた自然物を用いて創作させる。 ★自然の中で食物を煮炊きする共同体験を通し、自分の役割を果たしながら、互いに協力し合うことの大切さを体験させる。野外炊事場で班ごとにカレーライスづくりを行う。安全に活動するために、「けが・やけど・衛生」に注意させる。		★3日間のまとめとして、「自然、共同、自分」に関わる振り返りができるようにさせる。 ★健康面の確認をする。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 自然と仲良く、友達と仲良く

目指す児童・生徒像 クラスの和を高め、礼儀正しく鍛えあい、粘り強い生徒を育てる3日間

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1日目			8:00 学校出発 9:50 登山ーバス利用 (青少年交流の家～エネルギー資料館～ 登山口～地藏岳山頂・昼食～小沼～青少年交 流の家) 14:00 青少年交流の家到着予定	お 弁 当 持 参	14:30 入校式 15:00 オリエンテーション 15:30 アイスブレーキング 17:00 タベのつどい～夕食		19:30 〔理科〕 星空観察	
			◎事前指導 ・活動班 班分け ◎めあて ・班で協力し合う ・苦手なことに不平を言わずに挑戦		◎事前指導 ・生活班 班分け ◎めあて ・社会の中の一員として生活することを理 解させるための生活のルールや、心構 えを作らせる ・友達考え話し合いながら心をひとつにさ せて、ひとつのことを達成させる充実感 を味あわせる。		◎事前指導 ・理科教諭担当 天体学習 ・講師依頼 ◎事後指導 ・理科教諭担当 星空マップ作り ◎めあて ・自然全体に目を向けさせるとともに、 天体への関心を高める	
2日目			7:10 朝のつどい 9:00 〔国語〕 自然の中を歩き、詩を作る。考えが浮かばな い生徒にはキーワードを教師が事前に準備 しておく。 10:30 〔英語〕 散策中に集めておいた葉や木の実を用いて show and tell を行う。1時間目の詩と2時間 目のshow and tell は画用紙に貼り、学校に 戻ったら掲示する。		13:00 AAP体験活動 インストラクターに依頼 ☆午前と午後を2クラスに分け、交代で行う。 1, 2組は午前授業で午後体験活動 3, 4組は午前体験活動で午後授業		17:30 キャンプファイヤー	
			◎事前指導 ・2教科とも、自然を題材にしての作品作 りであるため、アイデアの出ない生徒 への支援の手立ては準備しておく。 ・事前の授業で、詩作りやshow and tell の経験は何回かさせておく。 ◎めあて ・自然観察後、想像力を働かせる学習。		◎事前指導 ・活動班で行う。 ◎めあて ・活動を通して班の友達と協力をしあうと共 に信頼を高めていく。 ◎注意事項 ・教師は生徒を観察するに徹し、インストラ クターに任せるが、困難な生徒の面倒は T2として手を貸す。		◎事前指導 ・「遠き山に日は落ちて」 今日の日は さようなら」の歌練習 ◎事前準備 ・エールマスターは実行委員から ◎めあて ・雨天プログラムは室内レクリエーション ・自然に感謝する気持ちを作る。学級 の出し物を全員が楽しい気持ちで 発表できるようなクラス作り。	
3日目			7:10 朝のつどい 9:00 ネイチャーゲーム 10:00 〔家庭科〕 野外炊事 カレー作りに挑戦	カ レ ー 作 り	13:00 退校式			
			◎事前指導 ・ネイチャーゲームはインストラクター依頼 ・野外炊事は家庭科の授業で食品の扱 い方や包丁の使い方の注意をしておく。 ◎注意 ・火傷、怪我防止の服装と注意事項の徹 底。衛生面の配慮も十分注意。 ◎めあて ・野外炊飯を通して協力することと、友達 のよい面を見つけあう。		◎事前指導 ・司会者を決めておき、進行の練習をし ておく。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 自然・仲間とのふれあい

目指す児童・生徒像		赤城の自然に触れた学習を通して、お互いのよさを知り、協力しながら学ぼうとする態度を高める						
	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			○ 青少年交流の家まで移動 ○ 始めの会（学活） ○ カレー作り（家庭）	野外炊事場	○（引き続き）カレー作り、会食（家庭） ○ 風景の写生（美術） ○ 等高線づくり（社会）	食堂	○ キャンプファイアー（総合） ○ 一日の反省	
			◎ カレー作りでは、男子だけ、女子だけの班を作り、男子は火起こし、女子は調理という概念にとらわれないで、仕事を分担できるようにする。		◎ 風景の写生では、「自然の静と動を描こう」をテーマにし、自然を改めて見つめ直すことで、絵の中に静と動を描くことができるようにする。その後班で展覧会を行い、お互いの作品を評価しあうようにする。 ◎ 青少年交流の家の地図を利用し、仲間と協力をして標高が同じ地点を線で結ぶ。 〔できるかどうかわかりませんが、標高線を実際にかくことで、理解が深まると思い、ぜひやってみたいと思いました・・・〕		◎ キャンプファイアーでは、クラス紹介を兼ねたクラスの出し物を取り入れ、お互いにそれぞれのクラスの様子を知ることができるようにする。	
2 日 目	○ 朝のつどい	食堂	○ 詩をつくる（国語） ○ うどん作り（家庭）	野外炊事場	○ （引き続き）うどん作り、会食（家庭） ○ オリエンテーリング（道徳）	食堂	○ 星座の観察（理科） ○ 一日の反省	
			◎ 詩をつくる活動では、自然の中を歩きながら今の自分の気持ちを表現することをテーマにして行う。その後班で発表会をすることで、お互いの気持ちを知ることができるようにする。 ◎ うどん作りでは、カレー作りと同様に、男子だけ、女子だけの班で行う。作業開始前に、話し合う時間を5分設け、昨日の反省を生かして効率的に進めることができるようにする。		◎ オリエンテーリングでは、事前に「男女の区別なくお互いのよいところを理解することが大切であること」をテーマに、道徳の授業を実施しておく。、男女混合の班で行うことで、それを実際に感じ取ることができるようにする。		◎ 事前に班ごとに星座にまつわる話を調べておき、実際に星座を指し示しながらその話をするようにする。	
3 日 目	○ 朝のつどい	食堂	○ 終わりの会（学活） ○ 登山（体育）	弁当	○ 学校まで移動	〈事後の指導〉 ○ 壁新聞作り（総合） ◎ 3日間を振り返り、「ふれあい」をテーマに一人一人が壁新聞を作る。ふれあったことでどのように感じたのか、自分の気持ちを入れるように伝える。		
			◎ 鍋割登山を行うため、昼食はお弁当とする。 ◎ 登山では、登山の注意事項を徹底させ、お互いに声を掛け合って、全員が歩ききれるようにすることを目標として実施する。		◎ 昼食後、そのままバスに乗り、学校へ移動する。	○ 仲間の大切さ（道徳） ◎ 林間学校で、友達にしてもらってうれしかったことを出し合い、一人一人がかけがえのない存在であることを理解できるようにする。		

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 自然に触れる(理科)

目指す児童・生徒像 「人間以外の生き物には人間の営利以外の目的でも守るべき価値がある」ということを感じ取れる生徒

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目	○朝の散歩		入所	食堂	○野鳥の観察 ・バードコール作り ・バードコールを使って、鳥と会話 ・色々な種類の鳥の鳴き声を聞き取って声真似をする。 ○フィールドワーク ・地面に直径1 c m位の穴が多くある場所を探す。 （蟬の穴） ・蟬の抜け殻を探す。 ○動物や昆虫を見つけてデジタルカメラで撮影して記録する。	食堂	○ナイトハイク ・蟬の羽化を観察しよう ・昼間見つけた蟬の穴、抜け殻が多い場所の近くの木の幹を観察し蟬の幼虫を探す。 ・デジタルカメラで写真・動画を撮って記録する。	1 日目のテーマを「動物」とする。
	・自分たちの生活するエリアを散歩して把握する。 (エリア地図があれば地図を持って散歩)				・「バードコールを鳴らすと鳥の声が返ってくる」という経験をする事で、野生動物の生活を害することなく人間は関わるができる事を経 験する。 ・「鳥の鳴き声ができる」と言う認識を「こういう鳴き声の鳥がいる」という認識に変え、場合によっては鳥の種類の手定まで行えるようにする。 ・鳥の鳴き声をカタカナ表記してみる。 ・ナイトハイクで蟬の観察をする場所の目当てを作っておく。 ・多くの動物を見るために、記録の負担軽減をしたい。なので記録をデジタルカメラの写真で行いたい。 ・学校に帰ったときパワーポイントで観察結果のプレゼンテーションを作らせたいので、写真の他に気づいたことをメモする。 *デジタルカメラ メモ用ノート クリップボード 筆記具 桜の木切れ ヒートン 鋸		・蟬の羽化する様子を直接観察し、羽化直後の無視の質感、羽化にかかる体感時間などを感覚的に知る。 ※デジタルカメラ メモ用ノート クリップボード 筆記具	理科＜動物の世界＞＜自然と人間＞に割り当てる。
2 日 目	・お昼用のおむすびを作る	食堂	○フィールドワーク 雲の観察 ・登山道付近を下から観察し、雲があるところを目指して歩く。 ・下から観察した雲と雲の中の様子をデジタルカメラで撮影して記録し、気づいたことをメモする ・鍋割を目標に歩く。	朝 作 った お む すび	フィールドワーク ○雲の観察 ・午前の続き	食堂	○星の動きの観察 同じ場所で2時間の間隔を開けて星の観察 同じ星座がどこにあるかを、地表の目印や木の枝等を基準に絵で記録する。 ○キャンプファイア キャンプファイアを挟んで観察を行う。 ○夜空がよく見えるところでアウトドアマットを敷いて寝ころんで空を見る。	2 日目のテーマを「天気・宇宙」とする。
	・簡易なお弁当を作る経験をする。		・雲を内部で見ると霧であることがわかる。 *デジタルカメラ メモ用ノート クリップボード 筆記具				○星の動きの観察を行うと共に、山の夜空でどれだけ多くの星を肉眼で見ることができるか、ということがわかる ○キャンプファイアの際にエールマスターは星にちなんだ話をちりばめた進行をする。 *メモ用ノート クリップボード 筆記具	理科「天気」「宇宙」に位置づける。
3 日 目	・朝の散歩		○フィールドワーク ・気になった植物をデジタルカメラで撮影して記録する。	食堂	退所			3 日目のテーマを「植物」とする。
			・学校に帰ったときパワーポイントで観察結果のプレゼンテーションを作らせたいので、写真の他に気づいたことをメモする *デジタルカメラ メモ用ノート クリップボード 筆記具				・写真やメモを多く残し、その資料を基に、学校に帰ってからまとめる。まとめの時間を特設し、パワーポイントでまとめを行う。	

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

校種	中学校	利用人数	170人
----	-----	------	------

平成23年度教員免許状更新講習

国立赤城青少年交流の家

プログラム名(テーマ) 『絆』大自然の中で

目指す児童・生徒像 自然への畏敬の念を持ち、謙虚な自分と仲間との『絆』を感じられる生徒

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			8 : 0 0 学校 発 9 : 1 5 国立赤城青少年交流の家 着 9 : 3 0 開校式 1 0 : 0 0 あかぎ登山C 開始 (昼食 鍋割高原) 雨天時 体育館でキャンプ講習。		1 6 : 0 0 国立赤城青少年交流の家 着 1 6 : 3 0 夕食作り (カレー) 1 8 : 3 0 夕食 1 9 : 0 0 片付け・キャンプファイヤー準備		1 9 : 3 0 キャンプファイヤー 2 1 : 0 0 入浴 2 1 : 3 0 班長会議 2 1 : 5 0 就寝準備 2 2 : 0 0 消灯 雨天時 キャンプファイヤーはキャンドルサービスにする。	
			○目的を明確にし、共同生活を心掛けるとともに自然を大切にする気持ちを持たせる。 ○「セーフティートーク」により安全に留意し、自然に親しめるようにする。 ○ごみの持ち帰りを徹底する。		○準備を素早くし、グループみんなで協力し、全員で考えながら作業を効率よく行う。 ○片付けは、教員がチェックをし、流しの排水ネットも確認し、来た時よりも美しくする。 ○片付けとファイヤー準備が同時進行のため、ファイヤー係が抜けた分を分担し、しっかり取り組ませる。		○2 1 : 3 0 から班長会議のため、班長は先に入浴を済ませる。	
2 日 目	6 : 3 0 起床 7 : 1 0 朝のつどい 7 : 3 0 朝食		8 : 3 0 A班(8 5人)AAP 開始 (あかぎアドベンチャープロジェクト) B班(8 5人)オリエンテーリング 1 2 : 0 0 昼食		1 3 : 3 0 B班(8 5人)AAP 開始 (あかぎアドベンチャープロジェクト) A班(8 5人)オリエンテーリング 1 7 : 0 0 国立赤城青少年交流の家 帰 1 8 : 0 0 夕食		1 9 : 3 0 ナイトウォーク 2 1 : 0 0 入浴 2 1 : 3 0 班長会議 2 1 : 5 0 就寝準備 2 2 : 0 0 消灯 雨天時 ナイトウォークは中止。	
	○起床後、各班の保健係が、健康カードを回収する。		○8 5人を7班に編成し、体験をする。 ○オリエンテーリングは、タイムレースにせず、自然に親しむことを目的とする。		雨天時 オリエンテーリングは、創作活動Aを体験する。(切り絵・てん刻・アロマキャンドル・万華鏡) AAPは、体育館で行えるものに切り替える。		○ナイトウォークは服装に注意させる。 ○虫除けスプレーを準備。	
3 日 目	6 : 3 0 起床 7 : 1 0 朝のつどい 7 : 3 0 朝食		8 : 3 0 グリーンアドベンチャー 1 0 : 3 0 うどん打ち		1 3 : 3 0 退所式 1 4 : 0 0 国立赤城青少年交流の家 発 1 5 : 1 5 学校 着 解散			
	○起床後、各班の保健係が、健康カードを回収する。		○グリーンアドベンチャー時、清掃活動を取り入れる。					

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 新入生仲間づくり

目指す児童・生徒像

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			○集合 (8:00) ○出発式 (8:20) ・実行委員長挨拶 ・校長先生の話 ○移動 → 到着 8:30～10:00 ○入港式 (10:00～10:30) ・オリエンテーション 野外炊事 (10:30～13:30) ・(カレーライスを作ろう)	野外	○仲間づくり活動 (14:00～16:30) ・エンカウンター *できるだけたくさんの友達と自己紹介 *できるだけたくさんの友達と握手 *ジャンケン列車 等 ○各クラスで校歌の練習 (16:30～17:00) *室内オリンピックに向けて、各クラスで合唱練習を行う。 ○タベのつどい (17:00～17:20)		○キャンプファイヤー (親睦的) (費用 6,600円) (19:00～20:30) ・クラスの出し物 ・フォークダンス ・夜話 等 ○入浴 (20:30～21:30) ○室長会議 (21:30～21:45) ○点呼・消灯準備 (21:45～22:00) ○消灯	・クラスから男女各1名ずつ実行委員を選び、「仲間づくり」をさせながら、事前準備を進める。
			・仲間づくりの目的を再確認させる。 ・「赤城赤城青少年交流の家」の職員と打ち合わせ ・カレー作りの分担 火おこし班 米とぎ班 カレー班		(めあて) ・エンカウンターなどを通して、仲間づくりを行う。 ・指導者は学年職員及びスクールカウンセラーで行う。 ・スクールカウンセラーを中心に、仲間づくり (エンカウンター等)を行う。		・和やかな雰囲気の中で、協力しながらキャンプファイヤーを行い、仲間意識や3年間このメンバーで頑張っていこうといった気持ちを作る。 ・入浴や部屋での過ごし方など、公共のマナーを意識させ、行動させる。	・カレー作りや、キャンプファイヤーを安全に実施できるよう、事前指導をしっかりとしておく。
2 日 目	○起床 (6:00) ○寝具整理 ○洗面 ○清掃 ○朝のつどい	食堂	○赤城アドベンチャープログラム A班 (9:00～12:00) ・アドベンチャープログラムでは講師を依頼する。(講師5人・費用40,000円) ○オリエンテーリング B班 (講師1名・マップ代525円) (9:00～12:00)	食堂	○赤城アドベンチャープログラム B班 (9:00～12:00) ・アドベンチャープログラムでは講師を依頼する。(講師5人・費用40,000円) ○オリエンテーリング A班 (講師1名・マップ代525円) (9:00～12:00)	食堂	○キャンプファイヤー (懇談的) (費用 19,800*3か所) (19:00～20:30) ・フォークダンス ・全員で合唱 ・夜話 ○入浴 (20:30～21:30) ○室長会議 (21:30～21:45) ○点呼・消灯準備 (21:45～22:00) ○消灯	・講師の方とプログラム内容等を打ち合わせしておく ・午前・午後の班を事前に決めておく。
	・時間までは、目が覚めても声を出さずにいる ・室長を中心に、部屋の点検等をする。 ・実行委員を中心に、しっかりした態度で朝のつどいに		・赤城アドベンチャープログラム及びオリエンテーリングを実施することにより、協力することや仲間の大切さに気づかせる。 ・赤城アドベンチャープログラム及びオリエンテーリングを実施にあたっては、講師の方の説明を良く聞き、安全に実施する。		・赤城アドベンチャープログラム及びオリエンテーリングを実施することにより、協力することや仲間の大切さに気づかせる。 ・赤城アドベンチャープログラム及びオリエンテーリングを実施にあたっては、講師の方の説明を良く聞き、安全に実施する。		・クラス毎に行う懇談的キャンプファイヤーを通して、自分の感想や宿泊体験を発表し、今後の学校生活に生かす。 ・入浴や部屋での過ごし方など、公共のマナーを意識させ、行動させる。	
3 日 目	○起床 (6:00) ○寝具整理 ○洗面 ○清掃 ○朝のつどい	食堂	室内オリンピック ・応援合戦 ・クラス対抗長縄大会 ・クラス対抗ドッジボール大会 ・クラス対抗合唱大会 (校歌)	食堂	○退校式 (13:00～13:30) ○移動 (13:30～15:00) ○解散式 ・実行委員長挨拶 ・校長先生の話 ・学年主任の話			事後指導では、各クラスで、個人の評価カードや感想をもとに、赤城宿泊体験を今後の学校生活に、どう生かしていくか話し合わせる。
	・時間までは、目が覚めても声を出さずにいる ・室長を中心に、部屋の点検等をする。 ・荷物を体育館に移動する。 ・実行委員を中心に、しっかりした態度で朝のつどいに臨む。		・クラスが一つになって、頑張ることを意識させる。 ・結果より、頑張ったことや協力したことの大切さを実感させる。 ・実行委員を中心に、用意してきたプログラムを協力して行う。		・退校式では、お世話になった職員の方に感謝をする ・退校式では、今回に活動を等して、仲間意識が高まったことを確認すると共に、学習したことを今後に生かすよう助言する。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 自然体験を通して友情を深める

目指す児童・生徒像

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			・ 移 動 ・ 開校式（9：00～10：00） ・ 赤城野鳥観察（10：10～11：50）		・ AAP（13：30～16：30）		キャンプファイヤ（19：00～20：30） 一日の反省	
			・ 校歌を大きな声で歌わせる。 ・ 服装態度をきちんとして式に参加させる。 係の生徒は自分の役割を果たす。 ・ タオル、帽子飲み物持参し野鳥の生態を知るとともに自然保護への感心意欲を高める。		・ 活動を通して仲間とのコミュニケーションを高め、協調性を学び、自己概念を向上させる。 ・ けがに注意させるとともに、真剣に取り組ませる。 ・ 15人グループでおこなう。		・ 儀式的なキャンプファイヤーの後に、親睦的なキャンプファイヤーをおこなう。音声の墓ボリュームはなるべく落とし、自然の感覚と友情を育む。 ・ 一日の反省点や良かったことなどを振り返る。	※講師費用 8,000円 ×6チーム
2 日 目	朝の集い ラジオ体操 諸連絡 清掃活動		・ グリーンアドベンチャー （9：00～11：00） ・ 野外炊事 （11：10～13：30）		・ ネイチャーゲーム（14：30～16：30）		・ 星座観察（19：00～20：00） 一日の反省	
	・ 集いの係は自分の役割を果たして仕事をする。 ・ 体育委員はラジオ体操を元気におこなう。		・ 遊歩道を歩きながら、遊歩道沿いにある植物や生物を鑑賞し記録に残す。 ・ 交通には十分に注意し、交通事故に遭わぬように事前指導を行う。 ・ ・ けがや、やけど、衛生面に留意しながら作業を進めさせる。 ・ 参加出来ていない生徒については、個別指導を適切におこなう。 ・ 8人グループでおこなう。		・ 自然体験を通して、自然に親しみ、自然を理解しその素晴らしさを環視とらせる。 ・ 勝手な行動や個人行動をしないで班で協力して、おこなわせる。 ・ 危険な植物には触れないようにもう一度全体に確認する。 ・ 7人グループでおこなう。		・ 星座を肉眼や望遠鏡で観察し、天体に関する感心・意欲を高める。 ・ 器具の使い方を把握し丁寧に使用するように指導する。 ・ 足元が暗いので注意させる。 ・ ワークシートにきちんとまとめをすることが出来る。 ・ 一日の反省点や良かったことなどを振り返る。	※講師費用 8,000円
3 日 目	朝の集い ラジオ体操 諸連絡 清掃活動 荷物整理と整理・整頓		・ オリエンテーリング ・ 閉校式		・ 移動			
	・ 集いの係は自分の役割を果たして仕事をする。 ・ 体育委員はラジオ体操を元気におこなう。 ・ 忘れ物がないように荷物整理をおこなう。布団をたたみ部屋の整理整頓をする。		・ 集団での行動をしっかり守り、ルールを守って公正におこなわせる。 ・ けがや危険な動植物には十分に注意をさせる。 ・ けじめある態度と服装で参加をさせる。 ・ 8人グループ		・ バスの中は、他の生徒の事を思いやりながら、楽しく過ごす。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 仲間と共に自然を発見しよう

目指す児童・生徒像 様々な体験活動を通して、達成感を味わったり、お互いの良さに気付いたりすることができ、相互に認めあえる人間関係を築くことができる。

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			○学校出発式(8:00～8:15) バスで移動(8:30～9:30) ○登山(9:45～) 箕輪→長七郎岳→小沼	小沼湖畔で弁当	○登山(～14:30) 小沼→覚満淵→ビジターセンター バスで移動(14:40～15:10) ○入所式(15:30～16:00) 荷物整理		入浴 ○星座観察(19:00～21:00) 班長会議 就寝	
			【登山】 ・自然を感じながら普段見ない景色を満喫させることで、達成感を味わわせる。		・ビジターセンターから赤城青少年交流の家まではバスを利用する・		【星座観察】 ・四季折々に見られる星座を肉眼や望遠鏡で観察し、天体に関する関心・意欲を高める。 ・講師指導依頼	
2 日 目	朝の集い(7:10～) 朝食(7:30～)		○グリーンアドベンチャー		○プロジェクトアドベンチャー		○キャンプファイヤー(18:30～20:00) 入浴 班長会議 就寝	
			・森林浴をしながら仲間で協力し合い、問題を解決しながら登山でも身近にあった自然植物への興味関心を高める。 ・5人組の12班編制		・仲間とのコミュニケーション能力を高め、協調性を高めると共に、友達の良さを発見させる。 ・10人組の6班編制 ・講師指導依頼		【キャンプファイヤー】 ・ファイヤーを囲みながら集団でのゲームやダンスを行い、仲間との交流・交歓を図る。	
3 日 目	朝の集い(7:10～) 朝食(7:30～)		○ネイチャーゲーム(8:30～11:00) ○野外炊事(11:30～14:30)		○退所式(15:00～15:30) バスで学校へ移動(15:45～16:45) ○解散式(16:50～17:00)			
			【ネイチャーゲーム】 ・色合わせや同じ物探しなどの自然体験を通して自然に親しみ、自然を理解し、素晴らしさを感じ取らせる。 ・5人組の12班編制 ・講師指導依頼		【野外炊事】 ・自然の中で食物を煮炊きする共同体験を通し、食生活を築くことや互いに協力し合うことの大切さを体験させる。 ・10人組の6班編制			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。